

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「協働チーム」による付加価値創出・海外販路開拓計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県、前橋市、高崎市、桐生市、沼田市及び群馬県利根郡昭和村

3 地域再生計画の区域

群馬県の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

【課題の背景】

- ・本県人口の減少（H17：2,024,135人→H27：1,973,476人、3%減）以上に、農業就業人口の減少（H17：71,696人→H27：44,006人、39%減）が著しい。
- ・大規模化・集約化が進んでいる一部地域を除き、県全体の耕作放棄地は高い水準（耕作放棄地面積14,042ha、耕作放棄地率23.7%）にある。
- ・地方創生に関するこれまでの取組により、就農希望者は増えつつあるが、新規就農者数は、年間目標の200人を下回っており、担い手の不足が最大の課題である。
- ・県内の有効求人倍率は常に全国平均を上回り、また、新規学卒者の県外流出が多いことから、人材の不足が常態化している。
- ・担い手不足、人材不足は、日本の人口減少が市場の縮小をもたらすことで、将来に希望を見だしにくいことが一因である。一方で、海外の市場は大きくなっているものの、輸出に踏み出せない農業生産者や地場産業事業者が多い。
- ・民間の調査では、本県の魅力度は下位にあり、若者のUIターンを促すには、県のイメージアップが必要である。
- ・これら課題の背景には、生産する農産物や製品のブランド化や情報発信の遅れやニーズとのミスマッチがあることから、輸出を通じて新たなマーケットを開拓すると共に、付加価値を高めて所得を向上させ、県内の農業や商工業をやりがいの持てる魅力的な産業にする必要がある。

【事業で解決を目指す課題】

- ・本県は東京に近く物流環境が整っており、県内で生産される農産物や製品の多くは、東京に向けて出荷してきた。そのため、将来を考え輸出に取り組もうとしても、長距離輸送や東京以外のマーケットへの対応などのノウハウを持たない生産者・事業者が多い。
- ・しかしながら、欧州へ日本で初めて輸出した和牛や、明治5年の富岡製糸場開設よりも前から輸出していた生糸や絹織物といった繊維産業、利根川の源流を有する本県の美味しい水を活かした日本酒や食料品については、数多くの国へ輸出してきた卸売業者等のスペシャリストも存在する。
- ・この輸出のスペシャリストと、スペシャリストとは異なる生産物や分野で輸出を希望する事業者からなる「協働チーム（コンソーシアム）」を形成し、スペシャリストの物流、ノウハウやマーケットを活用して、農産物や製品の輸出を拡大する。
- ・また、上州和牛は欧州で3割のシェアを持ち高く評価され、こんにやくいもは国内産の90%以上を生産するなど、県産農産物には高い潜在力がある。「協働チーム」には、生産者や事業者に加えて、マーケットの情報を持つ卸売事業者を入れることにより、生産物の付加価値を高める。

4-2 地方創生として目指す将来像

県内の農産物生産者、地場産業（絹製品、食品（地酒含む）等）を担う中小事業者、卸売業者や関連団体等が分野を超えて連携し、生産性向上や国際規格認証取得等による国際競争力の強化、ブランド力強化や販路拡大、戦略的なPRなどを通じて、国内における様々な需要を開拓するとともに、海外市場の取り込みを進める。

近年は、日本が誇る“食”や“文化”、“ものづくり”が海外に広く注目されていることから、本県では、豊富な農産物や食品、歴史ある絹製品などを国内外に発信するための重要な拠点となるジェトロ貿易情報センターの設置やコンベンションセンターの開設など経済活動の交流拠点整備を進めている。本県では、これらを核に新たな成長分野を創出し、海外販路の開拓とブランド力強化を図ることで、「ヒト・モノ・情報」を呼び込む農業と商工業の産業拠点形成を目指す。

【数値目標】

| | | | | |
|--|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| | 事業開始前 (現時点) | 2018年度 増加分 (1年目) | 2019年度 増加分 (2年目) | 2020年度 増加分 (3年目) |
|--|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|

| | | | | |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| 県産農畜産物の輸出金額（億円） | 10.64億円 | 0.69億円 | 0.79億円 | 0.80億円 |
| 協働チームの形成数（件） | 0件 | 2件 | 2件 | 3件 |
| 協働チームの売上額（万円／件） | 0万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 |

| | 2021年度 増加分 （4年目） | 2022年度 増加分 （5年目） | KPI増加分の累計 |
|-----------------|------------------------|------------------------|-----------|
| 県産農畜産物の輸出金額（億円） | 0.79億円 | 1.01億円 | 4.08億円 |
| 協働チームの形成数（件） | 4件 | 4件 | 15件 |
| 協働チームの売上額（万円／件） | 200万円／件 | 200万円／件 | 1,000万円／件 |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

県内の農産物生産者、地場産業（絹製品、食品（地酒含む）等）を担う中小事業者、卸売業者や関連団体等が分野を超えて連携し、生産性向上や国際規格認証取得等による国際競争力の強化、ブランド力強化や販路拡大、戦略的なPRなどを通じて、国内における様々な需要を開拓するとともに、海外市場の取り込みを進める。

近年は、日本が誇る“食”や“文化”、“ものづくり”が海外に広く注目されていることから、本県では、豊富な農産物や食品、歴史ある絹製品などを国内外に発信するための重要な拠点となるジェトロ貿易情報センターの設置やコンベンションセンターの開設など経済活動の交流拠点整備を進めている。本県では、これらを核に新たな成長分野を創出し、海外販路の開拓とブランド力強化を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】
- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対

する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業主体

群馬県、前橋市、高崎市、桐生市、沼田市及び群馬県利根郡昭和村

② 事業の名称：

「協働チーム」による付加価値創出・海外販路開拓

③ 事業の内容

【農業と地場産業の協働事業】（海外展開のための準備事業）

県及び市町村は、農業生産者、地場産業事業者、卸売業者等が「協働」で取り組む、県産農産物や地場産品の魅力を引き出し新たな付加価値を加えた商品づくりを促進する。また、ジェットロと連携し、農産物生産者、地場産業事業者、卸売業者に加え、商社、弁護士等、広告業者及び海外バイヤーとの「マッチング」機会をつくり、「協働チーム（コンソーシアム）」として活動を促すとともに、農業生産者、地場産業事業者等の交渉力強化を支援する。

【人的ネットワークを活用した海外販路開拓事業】（海外展開事業）

海外販路の開拓は、人と人のつながりによる信頼が重要である。県は、海外市場において影響力のある人物と行政との人的ネットワークを最大限に活用するとともに、さらなるネットワーク拡大を図る事業を実施する。トップセールス、展覧会出展、海外バイヤー招聘、専門家による支援等を通じて、人的ネットワークを構築するとともに、海外販路開拓に取り組む事業者を紹介し、「協働チーム」の取引機会を拡大する。

【輸出とイメージアップの相乗効果事業】（国内と海外の同時事業）

海外での商品認知による国内PR効果を狙うとともに、特にアジアへの輸出では東京で売れていることが販売面でのプラスになることから、それぞれの「協働チーム」は、輸出拡大と国内でのPRの相乗効果を発揮させる。県及び市町村は、農業生産者、地場産業事業者、卸売業者が「協働」で取り組んだ商品を海外でのPR販売、国内での宣伝、イベントでの周知、SNSやメディア等を活用した情報発信を行い、海外と国内の相乗効果を促進させる。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

農産物生産者、地場産業事業者、卸売業者等の「協働チーム（コンソーシアム）」を数多く形成する事業であり、これら「協働チーム」

はそれぞれ経済的に自立した集合体となる。「協働チーム」の連携促進や、県としての統一的なPRは、事業に参画する事業者の負担と、県のイメージアップとして一般財源で実施する。

【官民協働】

民間が主体となって活動する「協働チーム」が形成され、活発に取り組めるよう、行政は民間事業者のマッチングや情報提供を行う。これらの情報を集約する窓口として輸出促進団体を設置する。

また、輸出促進団体の運営には行政支援が必要であるが、民間の輸出が増加することで、民間負担を増し、民間主体の活動としていく。

【政策間連携】

海外販路の開拓は、長期輸送や法規制に適した製品開発や海外マーケットの嗜好を取り入れたマーケティングなど、民間事業者が必要とする情報量が格段に増加する。各分野に通じた人物を紹介するとともに、商品力やブランド力を高めるためのPR等の側面支援も必要となる。

【地域間連携】

農業生産が盛んな地域と卸売業者が多い地域は地理的に異なっている。また、市町村によって卸売業者の得意分野が異なることから、市町村が連携して取り組むことにより、県内で多様な組み合わせが増加する。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

| | 事業開始前 (現時点) | 2018年度 増加分 (1年目) | 2019年度 増加分 (2年目) | 2020年度 増加分 (3年目) |
|-----------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 県産農畜産物の輸出金額（億円） | 10.64億円 | 0.69億円 | 0.79億円 | 0.80億円 |
| 協働チームの形成数（件） | 0件 | 2件 | 2件 | 3件 |
| 協働チームの売上額（万円／件） | 0万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 |

| | 2021年度 増加分 (4年目) | 2022年度 増加分 (5年目) | KPI増加分の累 計 |
|---------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 県産農畜産物の輸 出金額(億円) | 0.79億円 | 1.01億円 | 4.08億円 |
| 協働チームの形成 数(件) | 4件 | 4件 | 15件 |
| 協働チームの売上 額(万円/件) | 200万円/件 | 200万円/件 | 1,000万円/件 |

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

① 群馬県

群馬県版総合戦略等の検証を行うことを目的に、産官学金労言の代表者で構成する「群馬の未来創生検証委員会」を設置し、事業の効果や妥当性について評価・検証を実施。「群馬の未来創生検証委員会」での評価・検証結果を、群馬県版総合戦略を策定するにあたり設置した産官学金労言の代表者で構成する「群馬の未来創生懇談会」に報告。次年度以降に実施する施策の企画立案に反映させる。

② 前橋市

総合戦略の進行管理を行う庁内組織（創生本部）及び産学官金労言の各分野の専門家から構成する外部組織（有識者会議）において検証を実施。

③ 高崎市

海外輸出の調査、研究を行う「高崎市内産農産物の海外輸出に関する研究会」において検証を行う。

④ 桐生市

産学官金労言の外部有識者による検証機会を設け、KPIの達成状況を確認する。

⑤ 沼田市

幅広い年齢層からなる住民をはじめ産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等で構成する「沼田市市民構想

会議」において、事業の評価・検証し、次年度以降に実施する施策に反映させる。

⑥ 群馬県利根郡昭和村

昭和村総合戦略等の検証を行うことを目的に、産学金及び住民代表者で構成する「昭和村まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」で評価・検証し、次年度以降に実施する施策の企画立案に反映させる。

【外部組織の参画者】

① 群馬県

産（農業・林業・商工業・医療福祉）、官（市町村）、学（教育分野、学識経験者）、金（金融関係）、労（労働組合）、言（マスコミ）の各分野の委員が参画。

② 前橋市

各分野（産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア）の有識者。

③ 高崎市

農業団体の有識者。

④ 桐生市

桐生商工会議所、桐生商店連盟協同組合、桐生市農業委員会、桐生広域森林組合、桐生刺繍商工業協同組合、群馬県桐生みどり振興局、群馬大学理工学部、桐生商業高校、桐生信用金庫、足利銀行、群馬銀行、桐生公共職業安定所、桐生タイムス、桐生市区長連絡協議会、桐生市社会福祉協議会、きりゅう市民活動推進ネットワーク、NPO法人キッズバレイ、桐生市PTA連絡協議会、桐生市医師会、桐生青年会議所、桐生市婦人団体連絡協議会、桐生市総合計画審議会、2015年の公共交通をつくる会

⑤ 沼田市

各分野（産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア）の有識者

一般公募による市民

⑥ 群馬県利根郡昭和村

産（農業・商工業・観光）、学（教育分野、学識経験者）、金（金融関係）、住民代表（福祉、村づくり、教育、労働分野）の各分野の委員が参画。

【検証結果の公表の方法】

- ① 群馬県
県のホームページに掲載。
- ② 前橋市
公開による会議開催並びに市ホームページでの公表。
- ③ 高崎市
市ホームページでの公表。
- ④ 桐生市
市ホームページで公表。
- ⑤ 沼田市
市ホームページでの公表。
- ⑥ 群馬県利根郡昭和村
村のホームページに掲載。

⑦ 事業費

ア 群馬県

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|---------|---------|---------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | 102,130 | 154,636 | 131,896 |
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 77,318 | |

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|---------|---------|---------|
| 126,235 | 123,235 | 638,132 |
| | | 77,318 |

イ 前橋市

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | 3,439 | 5,339 | 4,639 |
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 2,670 | |

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|--------|--------|--------|
| 4,739 | 3,839 | 21,995 |
| | | 2,670 |

ウ 高崎市

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | 4,000 | 4,000 | 4,000 |
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 2,000 | |

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|--------|--------|--------|
| 4,000 | 4,000 | 20,000 |
| | | 2,000 |

エ 桐生市

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | | 4,793 | 4,817 |
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 2,397 | |

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|--------|--------|--------|
| 4,817 | 4,817 | 19,244 |
| | | 2,397 |

オ 沼田市

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | | 6,000 | 6,000 |

| | | | |
|--------------------|--|-------|--|
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 3,000 | |
|--------------------|--|-------|--|

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|--------|--------|--------|
| 6,000 | 6,000 | 24,000 |
| | | 3,000 |

カ 群馬県利根郡昭和村

(単位：千円)

| 事業 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 法第5条第4項第1号イに関する事業 | 1,600 | 1,600 | 1,600 |
| うち法第5条第4項第2号に関する事業 | | 800 | |

| 2021年度 | 2022年度 | 総事業費 |
|--------|--------|-------|
| 1,600 | 1,600 | 8,000 |
| | | 800 |

⑧ 事業実施期間

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業
地域再生計画の認定の日から2023年3月31日まで
- ・ 法第5条第4項第2号に関する事業
2019年9月に申請した地域再生計画の変更の認定の日から2020年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

ア 法第5条第4項第2号に関する事業としての事業区分

地域産業の振興

イ 申請時点での寄附の見込額

(ア) 群馬県

(単位：千円)

| 寄附法人名 | 寄附の見込額 | |
|-------|--------|-----|
| | 2019年度 | 計 |
| — | 500 | 500 |
| 計 | 500 | 500 |

(イ) 前橋市

(単位：千円)

| 寄附法人名 | 寄附の見込額 | |
|-------|--------|-----|
| | 2019年度 | 計 |
| — | 100 | 100 |
| 計 | 100 | 100 |

(ウ) 沼田市

(単位：千円)

| 寄附法人名 | 寄附の見込額 | |
|-------|--------|-----|
| | 2019年度 | 計 |
| — | 100 | 100 |
| 計 | 100 | 100 |

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から2023年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

① 群馬県

群馬県版総合戦略等の検証を行うことを目的に、産官学金労言の代表者で構成する「群馬の未来創生検証委員会」を設置し、事業の効果や妥当性について評価・検証を実施。「群馬の未来創生検証委員会」での評価・検証結果を、群馬県版総合戦略を策定するにあたり設置した産官学金労言の代表者で構成する「群馬の未来創生懇談会」に報告。次年度以降に実施する施策の企画立案に反映させる。

② 前橋市

総合戦略の進行管理を行う市内組織（創生本部）及び産学金労言の各分野の専門家から構成する外部組織（有識者会議）において検証を実施。

③ 高崎市

海外輸出の調査、研究を行う「高崎市内産農産物の海外輸出に関する研究会」において検証を行う。

④ 桐生市

産学金労言の外部有識者による検証機会を設け、KPIの達成状況を確認する。

⑤ 沼田市

幅広い年齢層からなる住民をはじめ産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等で構成する「沼田市市民構想会議」において、事業の評価・検証し、次年度以降に実施する施策に反映させる。

⑥ 群馬県利根郡昭和村

昭和村総合戦略等の検証を行うことを目的に、産学金及び住民代表者で構成する「昭和村まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」で評価・検証し、次年度以降に実施する施策の企画立案に反映させる。

【外部組織の参画者】

① 群馬県

産（農業・林業・商工業・医療福祉）、官（市町村）、学（教育分野、学識経験者）、金（金融関係）、労（労働組合）、言（マスコミ）の各分野の委員が参画。

② 前橋市

各分野（産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア）の有識者。

③ 高崎市

農業団体の有識者。

④ 桐生市

桐生商工会議所、桐生商店連盟協同組合、桐生市農業委員会、桐生広域森林組合、桐生刺繍商工業協同組合、群馬県桐生みどり振興局、群馬大学理工学部、桐生商業高校、桐生信用金庫、足利銀行、群馬銀行、桐生公共職業安定所、桐生タイムス、桐生市区長連絡協議会、桐生市社会福祉協議会、きりゅう市民活動推進ネットワーク、NPO法人キッズバレイ、桐生市PTA連絡協議会、桐生市医師会、桐生青年会議所、桐生市婦人団体連絡協議会、桐生市総合計画審議会、2015年の公共交通をつくる会

⑤ 沼田市

各分野（産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア）の有識者

一般公募による市民

⑥ 群馬県利根郡昭和村

産（農業・商工業・観光）、学（教育分野、学識経験者）、金（金融関係）、住民代表（福祉、村づくり、教育、労働分野）の各分野の委員が参画。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

| | 事業開始前 (現時点) | 2018年度 増加分 (1年目) | 2019年度 増加分 (2年目) | 2020年度 増加分 (3年目) |
|-----------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 県産農畜産物の輸出金額（億円） | 10.64億円 | 0.69億円 | 0.79億円 | 0.80億円 |
| 協働チームの形成数（件） | 0件 | 2件 | 2件 | 3件 |
| 協働チームの売上額（万円／件） | 0万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 | 200万円／件 |

| | 2021年度 増加分 (4年目) | 2022年度 増加分 (5年目) | KPI増加分の累 計 |
|---------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 県産農畜産物の輸 出金額(億円) | 0.79億円 | 1.01億円 | 4.08億円 |
| 協働チームの形成 数(件) | 4件 | 4件 | 15件 |
| 協働チームの売上 額(万円/件) | 200万円/件 | 200万円/件 | 1,000万円/件 |

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

- ① 群馬県
県のホームページに掲載。
- ② 前橋市
公開による会議開催並びに市ホームページでの公表。
- ③ 高崎市
市ホームページでの公表。
- ④ 桐生市
市ホームページで公表。
- ⑤ 沼田市
市ホームページでの公表。
- ⑥ 群馬県利根郡昭和村
村のホームページに掲載。